

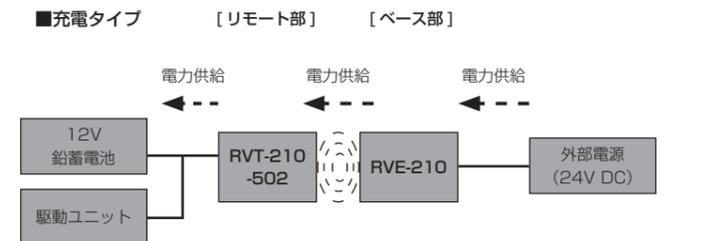
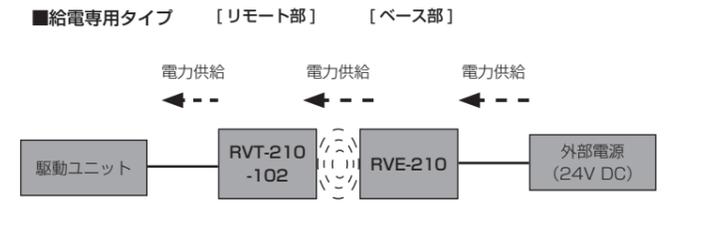
リモートパワーサプライシステム 30W 給電 / 充電仕様
ベース部 : RVE-210-2-PU-__ リモート部 : RVT-210-102-PU-__ (給電仕様) RVT-210-502-PU-__ (充電仕様 鉛蓄電池専用)

* Please turn over for English guide.

安全に関するご注意について

ご使用になる前に、本仕様書に記載の仕様内容及び設置に関する注意事項をご確認の上ご使用ください。

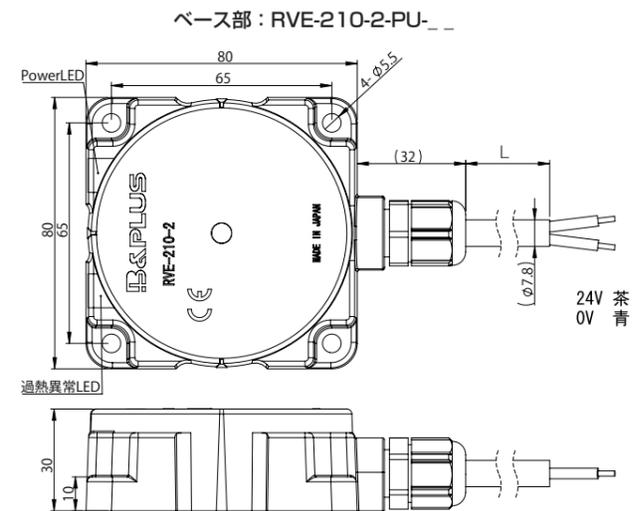
システム構成



【各部の役割】

リモート部：ベース部からの電力を受電し、駆動ユニットまたは鉛蓄電池に対し電源を供給します。
ベース部：リモート部に必要な動作電源を供給します。

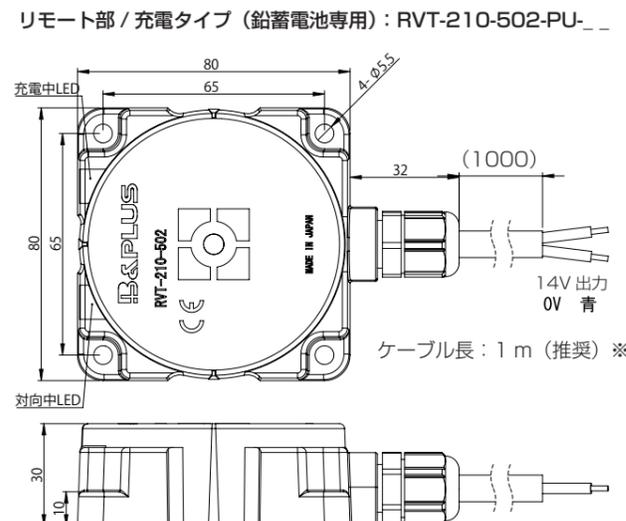
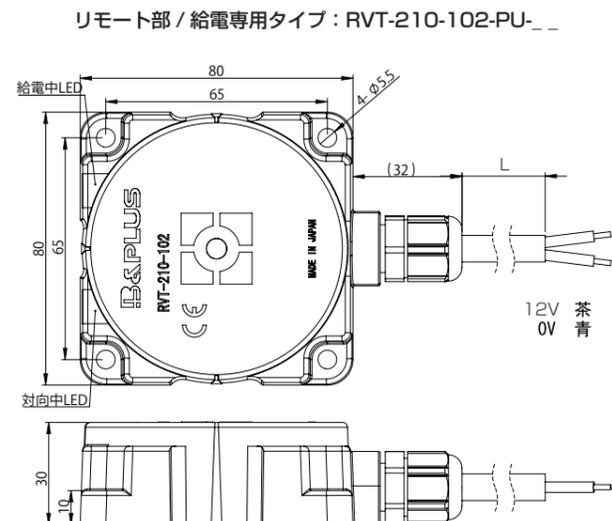
外形寸法図



仕様

型式	RVE-210-2-PU-__
使用電圧	24V DC ± 10% (リップル含む)
消費電流	≦ 2A
LED 表示	緑点灯: POWER (通電により点灯) 黄色点灯: 過熱異常
使用周囲温度	0...+50℃
保護構造	IP67
接続ケーブル	PUR φ 7.8mm / 2x1.5
材質 (ケース)	PBT
重量	本体 280g + ケーブル 82g/m

外形寸法図



仕様

型式	RVT-210-102-PU-__
定格伝送距離	4...10mm
軸ズレ	± 5mm
ドライブ電圧	12V ± 5%
ドライブ電流	2.5A
LED 表示	給電 / 対向の状態を LED で表示する
使用周囲温度	0...+50℃
保護構造	IP67
接続ケーブル	PUR φ 7.8mm / 2x1.5
材質 (ケース)	PBT
重量	本体 280g + ケーブル 82g/m

L=ケーブル長 / 型式末尾に m 単位で表記
...02 ⇒ 2m

型式	RVT-210-502-PU-__
定格伝送距離	4...10mm
軸ズレ	± 5mm
ドライブ電圧	≦ 14.4V CV 制御上限電圧 typ14.0V
ドライブ電流	2A CC 制御電流
LED 表示	充電 / 対向の状態を LED で表示する
使用周囲温度	0...+50℃
保護構造	IP67
接続ケーブル	PUR φ 7.8mm / 2x1.5
材質 (ケース)	PBT
重量	本体 280g + ケーブル 82g/m

使用可能なバッテリーの仕様

バッテリータイプ	鉛バッテリー
バッテリー電圧	12V DC
充電電流	2A 以上

※リモート部のケーブルが長くなる場合は、ケーブルによる電圧降下により充電電圧が変わってきます。ケーブル長 1m を超える長さについては、弊社営業までご相談ください。

LED の表示内容について

RVT-210-102-PU-__		RVT-210-502-PU-__		RVE-210-2-PU-__	
LED 名称	状態	LED 名称	状態	LED 名称	状態
給電中 LED	給電中 黄色に点灯	充電中 LED	充電中 黄色に点灯	Power LED	電源供給中 緑色に点灯
対向中 LED	対向中 緑色に点灯	対向中 LED	対向中 緑色に点灯	過熱異常 LED	内部素子過熱時 黄色に点灯

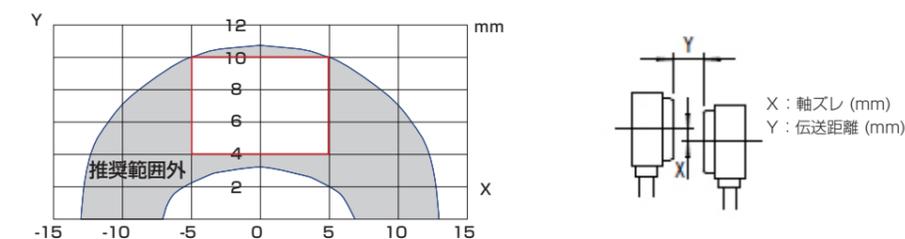
伝送距離

<伝送距離を守らないと、故障の原因になります>

- 仕様外の伝送距離 / 軸ズレ / 過負荷状態で長時間保持すると、異常発熱により製品を破損する場合があります。
- 対向中 LED の表示は、仕様範囲内での使用において、信号が確立している確認のための予備信号となります。仕様外での信号を保証するものではありませんのでご注意ください

型式	定格動作距離 (Y)	軸ズレ (X)	ドライブ電流
給電仕様 : RVT-210-102	4...10mm	± 5mm	≦ 2.5A
充電仕様 : RVT-210-502			≦ 2.0A

伝送領域図 (代表例：電源電圧 24V 時 / 金属非埋め込み)



設置条件

周囲金属による影響及び、製品間の相互干渉を避けるため、必ず下表に示す値以上の空間を開けて設置してください。(ネジの締付トルク⇒ 1.5N・m)

型式	A	B	C	D
RVE-210-2-PU-__	50	30	30	300
RVT-210-102-PU-__ RVT-210-502-PU-__				

(mm)

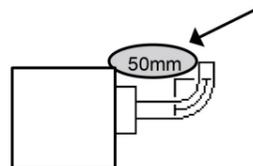
【周囲金属及び発熱に関するご注意】

<製品が金属に対向すると大変危険です。金属の存在による機器の破損を防止するため、必ず以下を守るようにしてください。>

- 「ベースヘッド部」 / 「リモートヘッド部」の伝送面に金属の切粉・切削片等が付着した状態で電源を投入しますと、「ベースヘッド部」や付着している金属の切粉・切削片が発熱し、予期せぬ事故につながる恐れがあります。ヘッド部伝送面に付着した金属の切粉・切削片等は、必ず取り除いてからシステムを稼働させてください。
- 動作中のコイル間に金属物を入れないようにしてください。誘導加熱による発熱や、発火する可能性があります。
- 製品が通電した状態で金属と対向させると故障の可能性が非常に高くなります。金属対向を避けるため、必ず、設置した後に電源を入れるようにしてください。
- 本体周辺に熱がこもらないよう、放熱に配慮した設置をお願いいたします
- 製品を並列して取り付ける際は、製品間の相互干渉を避けるため、必ず指定された値以上の空間を開けて設置してください。



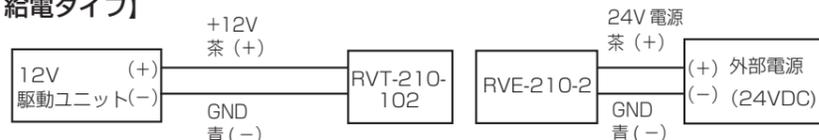
ケーブルの曲げ半径と取り扱い



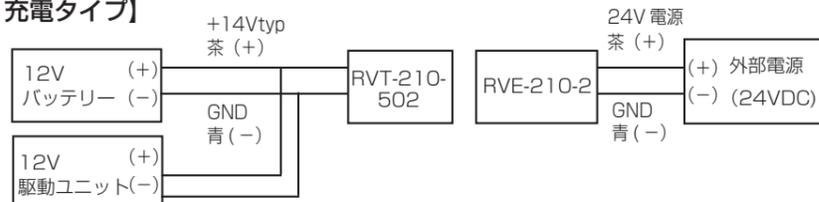
- ・ケーブルを屈曲して配線する場合は、50mm以上の曲げ半径を確保して下さい。取付の際は、ケーブルを過大な力で引っ張らないでください。破損につながり、製品故障の可能性が高まります。
- ・ケーブルの末端（配線部分）に、水や切削水が掛らないよう設置してください。ケーブル芯線から水分が本体へ伝わり、短絡や腐食等の不具合に至る場合があります。

配線

【配線図 / 給電タイプ】



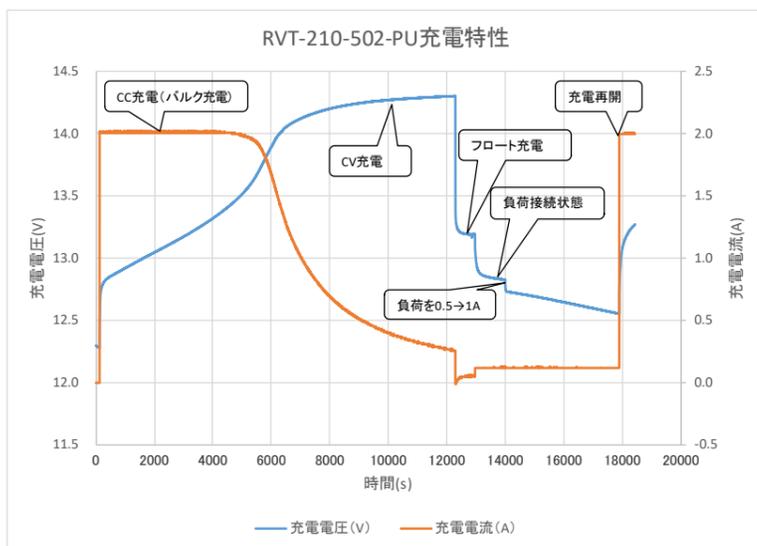
【配線図 / 充電タイプ】



【電源及び配線について】 <配線を間違えると故障します>

- ・設置（配線含む）、保守、故障などの対応をする場合は必ず主ブレーカ（動力盤）が切れていることを確認した上で作業を行ってください。活線状態で作業を行った場合、感電、故障の原因となります。
- ・作業は手順通りに正しく行ってください。設置工事において不備があると、故障や感電、火災等の原因になります。
- ・電源は必ずスイッチング電源等の定電圧電源をご使用ください。（全波整流電源など、定格以上のリップルが存在する電源を使用しますと、誤動作の原因になります。）
- ・充電タイプは、バッテリーを接続する際には、配線を十分確認して接続してください。極性を逆に接続すると製品の故障につながります。

充電特性 充電タイプ RVT-210-502-PU の場合



GS ユアサ製 PE12V12 を 50% 放電後、RVE-210-2-PU/RVT-210-502-PU の組み合わせで充電特性を評価。RVT-210-502-PU は 4 ステップ 3 ステージ鉛蓄電池プロファイルにて動作。

【バッテリーに関するご注意】

- ・過放電状態（バッテリー電圧約 10V 以下）では、充電電流を約 130mA に制限します。約 10V を超えると通常充電サイクルに復帰します。
- ・フロート充電から充電を再開する電圧は約 12.6V です。
- ・左記充電特性図を参照し、充電特性の一致するバッテリーを接続してご使用ください。また、製品個体差及びバッテリー特性により、充電完了直後に再充電が開始される場合があるため、使用するバッテリーの仕様書を確認の上、仕様に合わせて使用してください。
- ・リモート部にはバッテリー温度保護機能を有さないため、バッテリー側で管理してください。

・バッテリーによっては、起動処理をしないと電圧を出力しないものもありますので、バッテリーの取扱説明書をご参照下さい。バッテリーからの出力が無い (0V) の場合、リモートシステムは電圧異常や断線と見なし、充電を開始しません。

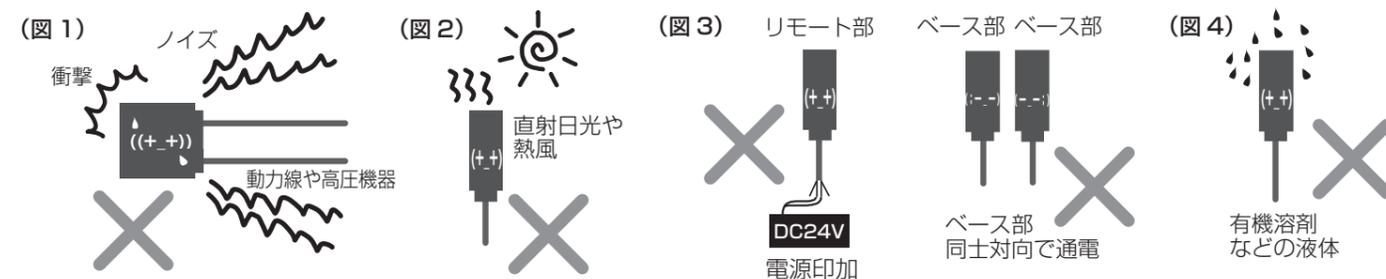
誤った使用による製品の故障事例が増えています。必ずお読み頂き、不安な場合は通電前に下記へお問合せください。
メール sales@b-plus-kk.jp

⚠ 設置に関するご注意

ご使用前に、以下の注意事項をよくお読みの上、安全に対して十分に注意し正しくお使いください。誤った取扱いは、機器の誤動作や故障を起こすばかりでなく、怪我や事故につながる可能性があります。危害や損害を未然に防止するためにも、必ずお守りください。

【設置状態について】 <設置を間違えると故障など、様々な危険が生じます>

- ・設置環境による材質劣化への影響、異物の侵入などには注意してご使用ください。特に屋外では紫外線などの影響が少ない設置や使用をするようにしてください。
- ・他の電子機器同様、システム立ち上がり時に突入電流が発生することがありますので、突入電流を考慮した電源設定を行うようお願いいたします。
- ・ノイズや自己発熱の影響を軽減するため、金属へ取り付けてください。
- ・充電タイプは定電圧・定電流値が接続するバッテリーの最大充電電圧及び最大充電電流を越えない範囲でご使用ください
- ・機器仕様に従い、ヘッド部が正しく対向する状態でご使用ください。
- ・設置場所については、本製品の自己発熱を考慮し、周囲温度が使用温度以下になるよう、対策してご使用ください。
- ・衝撃、外部のノイズは誤動作や故障の原因になります。衝撃を与えず、ノイズの影響を受けないようにしてください。(図 1)
- ・直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところに設置すると、火災や故障の原因となります。(図 2)
- ・リモート部へ電源を印可させたり、ベース部同士を対向させた状態でどちらか一方でも通電させると故障する可能性が有ります。(図 3)
- ・ケースは有機溶剤やそれらを含む液体がかからない環境でご使用下さい。(図 4)



⚠ その他ご注意

【規格、法規適合について】

- ・製品に搭載している制御用通信装置は、「微弱な無線局（微弱電波機器）」に該当しますので総務大臣の無線局許可（免許）は必要ありません。ただし、電子機器や医療機器（ペースメーカー等）に影響を及ぼす恐れがありますので操作の際はご注意ください。
- ・EMC 指令に適合している製品には、製品外観もしくはケーブルに CE マークを表示しております。ただし、サージに関する対応はしていませんのでケーブル長が 10m を超える配線でご使用になる場合は、過度のサージが加わらないよう対策を施してください。
- ・一部の製品について、日本国外でご使用になる場合は、製品を使用されるお客様のシステムが適合すべき規格や規則等について、お客様ご自身でご確認の上、適切な処置をしてください。

【その他】

- ・当社製品の分解改造は行わないでください。故障や火災・感電等の原因になります。また、重大な損害につながる恐れがあります。
- ・分解や改造をしないでください。これらを行った場合は保証外となります。
- ・煙が出る、異音・異臭がする等異常な状態の場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。
- ・本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として処分してください。
- ・必ず付属品や指定の部品を使用してください。誤動作及び、事故や故障、火災の原因となります。
- ・本書の内容および仕様については、将来、予告なしに変更されることがありますので、ご了承ください。本書の内容についてお気づきの点がありましたら、弊社までご連絡くださるよう、お願い申し上げます。

ワイヤレス給電の
株式会社 **ビー・アンド・プラス**

https://www.b-plus-kk.jp/ E-mail sales@b-plus-kk.jp